

秘書グループ

1. 大阪狭山市功労者・善行者表彰

(1)大阪狭山市表彰審査委員会

令和 5 年度功労者・善行者表彰にあたり、被表彰候補者の厳正かつ公平な審査を行うため、令和 5 年 9 月 27 日に大阪狭山市表彰審査委員会へ諮問し、9 月 27 日に答申を得ました。

(2)大阪狭山市功労者・善行者表彰式

令和 5 年 11 月 3 日の文化の日に、SAYAKA ホールにおいて大阪狭山市功労者・善行者表彰式を行い、市民、団体及び本市に縁故の深いもので、市政または公益に関し功労のあった人に表彰状を贈呈しました。

・ 功労者表彰	自治功労の部	12 人
	公安防災功労の部	10 人
・ 善行者表彰		2 人

企画グループ

1. 行政評価委員会の開催

令和 5 年 10 月 25 日に、市民や学識経験者等 9 名で構成する大阪狭山市行政評価委員会を開催し、行財政改革推進プラン 2020 及び第五次総合計画実施計画の令和 4 年度実績並びに第 2 期総合戦略の進捗状況に対する評価や意見をいただきました。

2. 内部統制システムによる統制活動

地方公共団体を取り巻く様々なリスクに対し自律的に対応可能な体制を整備するため、大阪狭山市内部統制実施方針に基づき、職員が現金を取り扱う事務、義務を課す又は権利を制限する業務、許可（認可）する業務、伝票起票事務及びマイナンバー取扱事務について、内部統制システムによる統制活動を実施しました。

なお、内部統制システムによる統制活動の機能向上を図るため、PDCA サイクル手法（計画、実施、評価、改善を繰り返す手法）を用いるとともに、内部統制評価員による実績の評価を行い、さらなる業務改善に努めました。

3. 広域連携の推進

平成 24 年 1 月から南河内 3 市 2 町 1 村（大阪狭山市、富田林市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村）の連携により開始した南河内広域共同処理事業が 10 年を経過したことから、令和 4 年度に引き続き、これまでの成果や取り巻く環境の変化を踏まえた今後の広域事務室のあり方等について検証し、職員配置について見直しを行いました。

4. まちの活性化推進事業

令和 4 年 2 月に策定した「狭山ニュータウン地区再生推進計画」において掲げる 4 つのシンボルプロジェクト等、狭山ニュータウン地区の再生・活性化に向けた施策の推進に努めました。また、各種の取組みの進捗等については、市民、識見を有する者、関係団体を代表する者等 17 名で構成する「大阪狭山市狭山ニュータウン地区再生連絡協議会」に報告し、意見をいただきました。

地域住民等が主体となって組織する「狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議」では、令和 5 年 10 月 28 日に、自治会や帝塚山学院大学、さやま未来プランナーなど多くの方のご協力のもと、大野台地区内の東大池公園において「第 3 回狭山ニュータウン魅力発見フェスタ」を開催し、多くの方に参加いただきました。

さらに、令和 6 年 3 月 20 日に、にぎわいある魅力的なまちづくりを進めるために、空き店舗等の活用の課題や可能性について、自由な意見交換を行う場を提供することを目的としたまちづくり講座を開催しました。

5. ふるさと応援寄附金事業

本市へのふるさと納税の利用をさらに促進するため、本市に 5,000 円以上の寄附をしていただいた市外の方に贈呈する返礼品の充実を図るとともに、ポータルサイトの拡充を行いました。

また、ふるさと納税におけるさらなるシティプロモーションの強化を図るため、一般公募型プロポーザル方式により令和 6 年 4 月からのふるさと納税業務受託事業者を選定しました。

(令和5年度実績)

寄附金の使い道	件 数 (件)	金 額 (円)
緑のまちづくりの推進に関する事業	104	1,958,000
地域福祉の推進に関する事業	59	1,498,000
文化の振興に関する事業	29	1,023,000
国際交流と国際理解を深める諸事業の 推進に関する事業	17	943,000
子育て支援に関する事業	167	6,964,000
新型コロナウイルス感染症等対策に関 する事業	14	566,000
市民公益活動の促進に関する事業	11	705,000
その他の事業	85	3,154,000
合 計	486 (うち、市外の方 484)	16,811,000 (うち、市外の方 16,611,000)

人事グループ

1. 級別職員数及び平均給料

令和5年4月1日現在

区 分	行 政 職 給 料 表								計
	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	
職 員 数 (人)	24	40	64	97	58	43	12	16	354
平均給料 (円)	196,242	217,830	246,633	314,232	357,884	396,853	424,400	446,675	310,027

2. 予算科目別職員給与費

(1) 一般会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
議 会 費	4	16,533	300	1,431	2,740	7,840	240	380	0	0	0	29,464
総 務 費	122	478,661	13,357	26,471	76,804	222,360	8,908	10,401	30,201	0	104,589	971,752
民 生 費	72	286,095	4,298	7,529	44,688	119,679	6,272	6,768	0	134	0	475,463
衛 生 費	29	120,589	3,828	2,634	19,057	57,834	1,504	1,986	0	1,063	0	208,495
農 林 水 産 業 費	6	19,746	909	893	3,232	8,518	462	274	0	0	0	34,034
商 工 費	4	16,295	420	1,254	2,695	7,906	612	169	0	0	0	29,351
土 木 費	27	99,747	2,846	4,671	16,090	47,310	2,146	2,012	0	26	0	174,848
消 防 費	3	11,956	328	561	1,927	5,772	0	51	0	0	0	20,595
教 育 費	62	251,312	6,635	14,169	40,523	114,698	1,931	3,580	13,314	0	0	446,162
計	329	1,300,934	32,921	59,613	207,756	591,917	22,075	25,621	43,515	1,223	104,589	2,390,164

(2) 国民健康保険特別会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
総 務 費	8	27,320	636	1,203	4,374	12,634	954	756	1,200	0	0	49,077

(3) 介護保険特別会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
総 務 費	10	34,895	474	1,275	5,496	15,867	670	719	4,152	0	0	63,548

(4) 後期高齢者特別会計

(単位：千円)

科 目	科目別 職員数 (人)	給 料	扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	期 末 ・ 勤 勉 手 当	住 居 手 当	通 勤 手 当	時 間 外 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	その他	計
総 務 費	1	3,104	0	0	466	1,399	336	140	211	0	0	5,656

※ 科目別職員数には特別職を含み、短時間勤務職員及び会計年度任用職員を除きます。

3. 職種別年齢別職員数

令和5年4月1日現在(単位：人)

区 分	総 数	20歳 未満	20～ 25歳	26～ 31歳	32～ 37歳	38～ 43歳	44～ 49歳	50～ 55歳	56～ 59歳	60歳 以上	平 均 年 齢
総 数	354	0	29	68	70	41	23	86	21	16	41歳 3月
一般行政職	259	0	23	54	57	31	13	56	14	11	40歳 4月
税 務 職	22	0	1	7	9	1	0	3	0	1	36歳 3月
保 健 師	11	0	0	1	0	1	3	4	2	0	48歳 2月
福 祉 職	18	0	3	3	1	3	2	5	1	0	40歳 2月
技能労務職	13	0	0	0	0	0	2	8	2	1	52歳 10月
教 育 職	31	0	2	3	3	5	3	10	2	3	45歳 3月

4. 令和5年度中採用・退職者数

(単位：人)

区 分	採 用 者 数			退 職 者 数		
	男	女	計	男	女	計
総 数	15	8	23	6	12	18
一般行政職	10	4	14	6	4	10
税 務 職	0	1	1	0	1	1
保 健 師	0	0	0	0	1	1
福 祉 職	1	1	2	0	0	0
技能労務職	0	0	0	0	0	0
教 育 職	4	2	6	0	6	6

５．職員研修の状況（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

職員の能力開発や資質の向上のための職員研修を実施しました。実施状況は、次のとおりです。

区分	研修名	対象者	内 容	受講者数 (延べ)(人)
内部研修 (階層別)	新規採用職員研修	新規採用職員	新規採用職員を対象に「人権問題」や「大阪狭山市の歴史的沿革」をはじめ、本市行政に関する基本的な知識の習得を図る。（計４件）	27
	行政実務基礎研修	新規採用職員	契約・法制執務等、行政事務に必要な基本知識について学び、日常業務で実践していく。（計３件）	36
	フロアマネージャー体験研修 (事前・実践)	新規採用職員	挨拶や周囲への気配りの大切さを認識し、自らコミュニケーションをとって積極的に行動するよう意識づける。（計２件）	24
	地方公務員法研修	主査級の職員	地方公務員制度の仕組みについて理解し、地方公務員法やその関連法の解釈と運用についての知識を習得する。	64
	地方自治法研修	主査級の職員	地方自治の枠組みを基礎付けている理念や制度を習得し、地方自治制度の全体像について認識を深める。	67
	説明力向上研修 (知識習得編)	新任主幹	市民・理事者・議員・組織内部を意識しながら、常に「公益」を最優先することを意識し、論理の破綻なく説明できる能力向上を図る。	8
	説明力向上研修 (実践演習編)	新任主幹	市民・理事者・議員・組織内部を意識しながら、常に「公益」を最優先することを意識し、論理の破綻なく説明できる能力向上を図る。	6
	議会答弁対応力 向上研修	課長補佐・主幹級の 職員	議会对応のポイントを学ぶとともに、演習にて模擬答弁を行う。	26
内部研修 (組織力 向上)	人事評価（１次 評価者・２次評 価者）研修	各所属の１次評価者 (次長級・課長級の 職員)・２次評価者 (部長級の職員)	人事評価制度の趣旨や目的を理解し、具体的な事例をもとに評価演習を行う等、１次評価者・２次評価者として人事評価の実践力を養う。 (計２件)	38
	JIAM 研修成果発 表会	全職員	全国市町村国際文化研修所（JIAM）での研修成果の発表を行う。	12

区分	研修名	対 象 者	内 容	受講者数 (延べ)(人)
内部研修 (課題別)	公務員倫理研修	全職員	「市が行う業務は市民との信頼関係のもとに成り立っている」という原点に立ち返り、公務員倫理の意識高揚を図る。	426
	普通救命講習	新規採用職員等	病院到達前の心肺停止患者の救命率向上を図るため、心肺蘇生法等を習得し、人命救護ができるようにする。	12
	育児休業に係る研修	部長級・次長級・課長級の職員	男性職員の育児休業をはじめとした各種子育て制度の取得促進を図る。	63
	ハラスメント防止研修	部長級・次長級・課長級の職員	ハラスメントの防止・根絶を目的として、正しい理解を促すとともに、相談を受けるときの心構え等を学ぶ。	63
	安全運転講習会	全職員	公用車利用時における安全運転意識の高揚を図る。	38
	人権研修「アンコンシャス・バイアスセミナー」	全職員	自分の中のバイアスに気づくことで、無意識な差別や偏見の抑止、多様な価値観、考え方を認め合うためのきっかけを学ぶ。	89
	人権研修「ヤングケアラー問題を考える」	全職員	「子どもの権利条約」をはじめとする子どもの人権について学び、子どもたちがおかれている社会の実態を把握する。	55
	人権研修「障害者にとっての障害とは？」	全職員	人権課題について現状と実態を学び、イベントや施策における合理的配慮の提供や環境整備について考える。	24
			小計 25 件	1,078
広域共同研修	中部都市職員研修協議会研修	階層別、または指定職員	・新規採用職員研修（前期・後期） ・採用面接官研修 ・新任課長研修 ・新任係長研修 ・民法演習研修 ・行政法演習研修 ・工事監理(建築)研修 ・ハラスメント相談員研修 ・地方自治法指導者養成研修 に参加（計 10 件）	47
			小計 10 件	47

区 分	研修名	対 象 者	内 容	受講者数 (延べ)(人)
派遣研修	おおさか市町村職員研修研究センター（マッセ OSAKA）	全職員	職員の能力向上を図るため、マッセ OSAKA 主催の各種研修会やセミナー等に参加（計 35 件）	46
	人権関係研修	各部署推せん	部落問題・人権問題に関する総合的・専門的知識の習得と考え方や姿勢を再認識するため、部落解放・人権大学講座、部落解放・人権夏期講座などに参加（計 4 件）	6
	全国市町村国際文化研修所研修	指定職員	・次世代を担う若手職員育成研修 ・自治体の広報～住民に読まれ、親しまれる広報を目指して～ に参加（計 2 件）	2
	その他の派遣研修	各部署推せん	安全衛生関係研修会、技術職員研修などに参加（計 12 件）	20
			小計 53 件	74
合計 88 件				1,199

公民連携・協働推進グループ

○コミュニティ活動推進関係

1. 大阪狭山市自治会地区会連合会助成金

助成団体名	加入地区数(地区)	交付金額(円)
大阪狭山市自治会地区会連合会	48※	480,000

※R6.3月末時点で加入地区数は47団体

2. 地域力活性化支援事業補助金

申請団体数 34 団体（実績団体数 34 団体）

・交付内訳

補助対象事業名	事業数(件)	交付金額(円)
地域活性化事業	15	438,640
防犯活動事業	18	418,209
防犯資機材整備事業	4	92,396
地域イベント活動事業	25	2,097,644
集会施設小規模修繕等事業	19	792,608
合 計	81	3,839,497

3. まちづくり円卓会議事業

特定非営利活動法人南中学校区円卓会議、第三中学校区まちづくり円卓会議、狭山中学校区まちづくり円卓会議に運営費補助金を交付しました。

補助金交付団体	補助金額(円)
特定非営利活動法人南中学校区円卓会議	100,739
第三中学校区まちづくり円卓会議	133,637
狭山中学校区まちづくり円卓会議	183,371

また、第三中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった 2 事業及び狭山中学校区まちづくり円卓会議から提案のあった 4 事業の予算措置を行うとともに、これらの事業実施の支援を行いました。

特定非営利活動法人南中学校区円卓会議には、大阪狭山市まちづくり円卓会議条例及び同条例施行規則に基づき、交付金として 4,425,422 円を交付しました。

4. 職員地域交流スタートアップ事業

地域とともに協働してまちづくりを推進していくため、地域の活動がわかる職員づくりを目的に、地域における課題や取組内容、その意義などについて理解するための職員研修を令和 6 年 3 月 7 日に実施しました。

○市民公益活動促進事業関係

1. 市民公益活動促進委員会

委員会は、市民公益活動の促進に必要な事項を調査審議する市長の諮問機関であり、現委員は、令和4年8月に委嘱し、構成は市民3人、事業者1人、学識経験者2人、その他2人、計8人で、任期は令和6年8月26日までです。

委員会を6回開催しました。令和5年度市民公益活動促進補助金交付申請事業の審査結果及び完了した補助事業に関する意見のとりまとめ、令和6年度市民公益活動促進補助金申請事業の募集等について審議しました。

また、委員会で設置した専門部会の評価部会において、令和5年度市民公益活動促進補助金交付申請に係る審査、補助対象事業の期中評価などを行いました。

2. 市民公益活動促進補助金

大阪狭山市市民公益活動促進条例の基本理念に基づき、市民公益活動を促進するために公募制で実施する補助金制度です。令和5年4月16日に実施した公開プレゼンテーションの審査を経て、3団体4事業に補助金を決定し、各事業の実績に基づいて補助金の交付を確定しました。

「チャレンジ部門」

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	そなえてまもれプロジェクト	大阪狭山防災レンジャー	幼児期から災害などについて学ぶことで、防災意識向上の啓発を促す。そのため、親子で参加する救命講習会、防災に関する講話、避難所までの避難路を実際に散歩し、防災マップを作成するなど、親子で防災について学び考える機会をつくる。	97,000
計	1事業	1団体	—	97,000

「自立促進部門」

【テーマ型】

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	地域で作る“生きづらい人々の居場所”トビラファーム	特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもりをはじめ、現代社会で生きづらさを抱える若者を対象に農園を居場所として提供し、食を通しての居場所づくり事業「地域食堂」を展開する。当事者と支援者及び地域の人たちとの交流に重点を置き、生きづらさを抱える若者が急増する現実をみんなで考える学習機会を積極的に設け、当事者や当事者家族に向けられる偏見差別をなくすとともに、理解を深める。	220,000
計	1事業	1団体	—	220,000

【提案型】

番号	事業名	団体名	事業の概要	補助額(円)
1	人も猫もしあわせなまちづくり～さくら猫おそうじパトロール～	猫ともクラブ in 大阪狭山	所有者のいない猫の問題についての学習機会の提供、そのような猫が多い地域へのアンケート調査、啓発活動や命の教室の実施などにより、人と動物がしあわせに共生	72,000

			できるまちづくりを目指す。	
2	ひきこもりの若者たちが「EM 廃油石鹸」で未来との循環を作る	特定非営利活動法人南大阪サポートネット	ひきこもりの若者たちと支援者が、廃油を集めてEM廃油石鹸をつくり、その石鹸を使ってもらうことを通して、社会との繋がりを持ち、自分にも社会にも優しい循環のある取組みとして社会に貢献することで、当事者が望む自分らしい生き方の実現を目指す。	202,000
計	2 事業	2 団体	—	274,000

3. 市民活動支援センター事業

- ・ 特定非営利活動法人大阪狭山アクティブエイジングが本市の委託と補助制度を活用し、市民協働事業として市民活動支援センター事業を実施しました。

委 託 料 (円)	10,494,000
補 助 金 (円)	1,800,000

- ・ ボランティア・インフォメーション・コーナー（VIC）において、市民の主体的なボランティア活動やボランティア団体の活動が活発に展開されるように努めました。
- ・ 市役所南館（2 階）を拠点として、ミーティングスペース、ミーティングルーム、団体への連絡・郵便物・ファクシミリの取次ぎに利用できるメールボックス、書類や物品の一時保管のための貸しロッカー、印刷機や複写機・紙折り機などを備えたワークステーションの設置、ウェブ会議や動画作成に活用できるパソコン・カメラ等の備品の貸出など市民活動の支援を行いました。
- ・ 団体の活動情報の収集と発信のための情報誌「News Letter Express」を 4 回発行しました。
- ・ 団体の活動を支援するため、市民活動支援セミナーや活動発表会、団体交流会等を実施しました。
- ・ まちづくりにかかる人材の発掘と育成を図るため、「第 19 期まちづくり大学」を開講し、13 人が受講しました。
- ・ 「まちづくり大学」の修了者による「まちづくり研究会」の運営・活動支援を行いました。
- ・ 市民活動団体等が自らの活動内容を紹介し、市民に対し市民活動への理解や参加を促す場として、第 2 回わくわく市民活動・ボランティアフェスティバルを開催しました。

4. 公民連携事業

行政が抱える課題解決、市民サービスの向上、地域の活性化を目的に、民間事業者等のノウハウ、アイデアを積極的に活用する事業です。令和 5 年度は 1 件の包括連携協定を締結しました。

事業者	協定締結日
学校法人ホンダ学園ホンダテクニカルカレッジ関西	令和 6 年 3 月 15 日

5. 市民・市民公益活動団体との協働事業

市民や NPO、ボランティアグループなどの協働事業に関する調査を実施し、令和 5 年度事業として、市内から 152 事業の協働事業の報告がありました。

6. 狭山池まつり補助金

狭山池まつり実行委員会が「大阪狭山市民のシンボルである狭山池の再発見、水との共生」「広く地域住民が集い交流できる市民まつり」「わが町の歴史・文化の振興と共有」「青少年の健全育成・人づくり・まちづくり」「本市の市民活動と経済の活性化」を目的に実施した事業に補助金 3,500,000 円を交付しました。

(1)狭山池まつり 2023

開催日 令和 5 年 4 年 29 日、30 日

来場者数 約 35,000 人

(2)通年事業（狭山池クリーンアクション）

第 1 回狭山池まつり開催後の平成 14 年 6 月から市民に広く呼びかけ、月 1 回以上、堤や河口の清掃・草刈などを継続して実施するとともに、平成 16 年度からは水質検査に取り組むなど、本市のシンボルである狭山池を、いつまでも美しいままに未来へ繋ぐための活動を行い、令和 5 年度まで通算 283 回の実施となりました。

7. 特定非営利活動法人の設立認証等事務

市内のみに事務所を設置する特定非営利活動法人に係る事務手続きを行いました。

市内の法人数	26
--------	----

○文化振興関係

1. 文化会館の管理及び運営

- 優れた芸術の鑑賞や市民の文化活動の発表の場である大阪狭山市文化会館（SAYAKA ホール）の管理運営を、指定管理者である公益財団法人大阪狭山市文化振興事業団が行いました。

指定管理料（円）	193,321,000
----------	-------------

- 鑑賞型事業では、杏里「ANRI LIVE 2023 45th Anniversary Circuit of Rainbow」を始め、さやか寄席「桂文珍独演会」や劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」などの公演等を開催しました。市民参画型事業ではさやま芸術祭、創造型事業では南河内ジャズフェスティバルなどを実施しました。
- 文化会館を拠点に市民団体が行う文化活動を支援し、文化会館の活性化と市民文化の振興を図るため、文化振興事業団に対し、補助金を交付しました。

事業名	決算額（円）	内容
文化会館活性化事業費 補助金事業	1,610,000	「文化の花咲かそ補助金」の交付 (補助対象 11 団体 11 事業)

- 市民の教養を高め、文化向上に寄与することを目的に大阪狭山市文化協会に対し、補助金 400,000 円を交付しました。

○国際化施策及び地域間交流関係

1. 都市間交流

姉妹都市アメリカ合衆国オレゴン州オンタリオ市、友好都市和歌山県日高郡日高川町との市民相互の交流を促進するため、大阪狭山市都市間市民交流協会に補助金 2,000,000 円を交付しました。

・主な事業内容

(1)オンタリオ市への学生派遣

令和 6 年 3 月 13 日から 3 月 26 日までの 14 日間、本市から高校生 2 人、大学生 2 人をオンタリオ市に派遣し、交流を深めました。

(2)日高川町との交流

令和 5 年 6 月 3 日の「日高川町寒川ワンダフルナイト」に 22 人が参加し、令和 5 年 11 月 12 日の「日高川町フォレスト祭」には 21 人が参加しました。日高川町フォレスト祭では、大阪狭山市のブースを出展し、友好都市との交流を行いました。

(3)市民版「こうりゅう」の発行

令和 6 年 1 月に、市民向けの「こうりゅう」を発行し、市広報誌に折り込みで全戸配布しました。

○生涯学習支援関係

1. 生涯学習情報誌「ライフ・タイム」

市民の「学びたい」、「知りたい」、「学んだことを役に立てたい」という気持ちをサポートするための生涯学習情報誌「ライフ・タイム」を 4 回発行しました。

(単位：件)

発行ナンバー	No.77	No.78	No.79	No.80	合計
情報数	76	92	69	72	309

2. 生涯学習出前講座

市民団体やグループが実施する学習会などに市職員が講師として出向き、市政に関する説明や情報の提供、専門的な知識を生かした実習などを 19 回実施しました。

広報プロモーショングループ

○広報関係

1. 広報誌の発行

市民と行政を結ぶパイプ役として、広報誌を毎月1回1日付けで発行しました。

基本となる発行部数は27,800部で、市内全世帯と各事業所に配布しました。

年 月	主 な 内 容	頁数
令和5年5月号 No. 651	・特集 みんなが大切にされるまちってどんなまち？ ・おおさかさやまの中学校区のまちづくり ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金 ・狭山池博物館の累計来館者数が200万人を突破	28
令和5年6月号 No. 652	・特集 ミライを育む、サヤマの給食 ・古川市政3期目がスタート ・令和4年度市の財政事情を公表します ・無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。	28
令和5年7月号 No. 653	・特集 所信表明・施政運営方針 ・特集 夏休みイベント情報 ・近畿大学病院等移転跡地の土地利用ゾーニング案に関する市民アンケート ・平和を考える市民のつどい	36
令和5年8月号 No. 654	・特集 公共施設の現状と課題 ・新型コロナワクチン接種情報 ・公の施設を管理する指定管理者を募集 ・SAYAKA キッズフェスタ2023	28
令和5年9月号 No. 655	・特集 認知症って？意外と身近な認知症のこと。 ・さやりんポイントプレミアムチャージキャンペーン ・台風への備えは万全ですか？ ・第3回狭山ニュータウン魅力発見フェスタ	32
令和5年10月号 No. 656	・特集 虹色の特性に寄り添う、通級指導教室 ・防災フェスタ in 大阪狭山2023を開催します！ ・大阪狭山市×狭山高校 高校生が考えるおおさかさやま ・はばたきフェスタ	32
令和5年11月号 No. 657	・特集 半井重幸さんパリオリンピック出場権獲得 ・特集 気軽に寄ってって!! 相談してって!! “きらっとびあ” ・2023年第16回大阪狭山市産業まつり ・令和4年度わたしたちのまちの報告書	36

令和 5 年 12 月号 No. 658	・特集 フェスタにんげんばんざい ・年末年始の業務案内 ・桜まつり～冬～大阪狭山イルミネーション ・大阪狭山市 Instagram フォトコンテスト～クリスマス in 大阪狭山～	28
令和 6 年 1 月号 No. 659	・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（1 世帯 7 万円の追加給付） ・パブリックコメントを募集 ・高齢者補聴器購入費用助成を開始 ・新春こどもまつり	28
令和 6 年 2 月号 No. 660	・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（所得割非課税・こども加算） ・キニナル 半井重幸さん ・地域の人と一緒に作る新しい学校のカタチ ・第 2 回わくフェス	28
令和 6 年 3 月号 No. 661	・特集 地震対策をしましょう ・公共施設オンライン予約システムをリニューアル ・桜まつり～春～ ・大阪狭山市フォトコンテスト～ぎゅっと、大阪狭山～	28
令和 6 年 4 月号 No. 662	・特集 施政運営方針の骨子 ・特集 一緒に考えよう！未来のまちのカタチ ・市の組織の一部・執務室の配置が変わります ・狭山池まつり	36

2. 声の広報の発行

目の不自由な人を対象に、市民のボランティア団体との協働により、広報「おおさかさやま」の主な記事を DAISY 規格により CD に録音した声の広報「おおさかさやま」を、毎月 1 回作成・送付しました。

3. 報道機関との連絡調整

朝日新聞社・産経新聞社・毎日新聞社・読売新聞社・共同通信社・NHK 大阪放送局の 6 社で構成する河南記者クラブ（富田林市役所内）や、ミニコミ誌等に対して、イベント等の記事提供、取材協力などを随時行いました。総件数は 66 件。

4. 河南地区広報協議会

河南地区 8 市町村の広報担当者が参加し、広報活動に関する調査研究、会員間の相互連絡を図りました。

5. 市ホームページのリニューアル

ホームページ利用者の利便性の向上や災害発生等の緊急時の対応、セキュリティ対策の強化とともに、シティセールスの充実を図るため、市ホームページとシティプロモーションサイトをリニューアルしました。

6. コンテンツマネジメントシステム（ホームページの作成と管理運用するためのシステム）の運用
 利用しやすさ（アクセシビリティ）・使いやすさ（ユーザビリティ）に優れたホームページの維
 持・管理を行いました。

<大阪狭山市ホームページ月別アクセス状況>

■ ホームページのアクセス件数

（単位：件）

R5/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6/1	2	3	計
155,458	100,104	98,739	89,247	105,441	92,316	127,034	81,036	76,320	86,482	71,099	80,316	1,163,592

■ ホームページにアクセスしたユーザの件数

（単位：件）

R5/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6/1	2	3	計
101,060	70,468	69,087	63,222	75,222	62,813	75,908	51,301	47,900	55,762	46,479	53,435	772,657

※ 同一ユーザが1日に複数回アクセスした場合は1件／日としてカウントしています

○魅力発信関係

街並みや自然、イベント等、市の魅力を市内外に発信し、交流人口の増加及び市への転入・定住を促進するため、大阪狭山市 Instagram フォトコンテストを開催しました。また、子育て世代をメインターゲットに市の住みやすさや、よりよい暮らしをアピールするため、シティプロモーションサイトをリニューアルしました。